

指定無形民俗文化財

華麗な舞いが花盛り

指定無形民俗文化財の奉納が4月上旬、市内各地域で行われました。華やかで力強い舞いは、桜の開花とともに春の訪れを告げる成田の風物詩。伝統の息吹を今も変わらず感じることができます。



三匹の獅子が縦横無尽に
(5日・北羽鳥香取神社獅子舞)



力強い幣束へいまくの舞い
(11日・西大須賀の神楽)



幸町・女人講が華やかに(3日・成田のおどり花見)



幽玄の美を表現
(5日・取香の三番叟)



激しくボールを奪い合う

成田女子サッカーフェスティバル

新しいコートでキックオフ

新たに人工芝が張られたサウンドハウス・スポーツセンター(中台運動公園)球技場で4月4日、整備後初の大会となる「成田女子サッカーフェスティバル」が開催されました。成田北高校女子サッカー部とJEFLユナイテッドU18による模範試合の後、参加者は12歳以下の「ガールズ」と15歳以下の「ジュニアユース」の2部に分かれて熱戦を展開。スポーツ日和の晴天の下、選手たちは真新しい人工芝の上で思う存分ボールを追い掛けました。

赤坂消防署公津分署

より充実した地域防災に向けて

急増する救急要請などに対応するため、江弁須地先に建設された赤坂消防署公津分署。その開署式が3月24日に行われました。同分署が管轄するのは公津の杜、台方、飯仲地区など。地域防災の重要な拠点として、4月1日から運用が開始されています。



開署式でのテープカット



署内には防火学習コーナーも

謎めいた空間に驚嘆

皇室用として造られたといわれる、三里塚記念公園内の防空壕が4月5日、初めて一般向けに公開されました。同じく公園内にある貴賓館の一般開放に合わせ、この日限定で行われたもので、「三里塚の歴史を傳承する会」の呼び掛けによるもの。訪れた人たちは、地下5mに広がる謎めいた空間に足を踏み入れると、その堅固な構造に口々に驚きの声を上げていました。市では、引き続き一般公開に向けた調査・整備を行っていくこととしています。



防空壕の主室。広さは11㎡ほど



活躍が期待される“子育て支援号”

寄贈を喜ぶ小泉市長

次世代を担う 子どもたちのために

「次世代を担う子どもたちの支援に役立てて」と成田グリーンライオンズクラブが3月30日、軽自動車“子育て支援号”を市に寄贈しました。4月から市に「健康こども部」が新設されることに伴い、クラブ結成20周年記念事業として行ったもの。寄贈を受け、市では「この車が街中を走ることで、市が子育てに目を向け応援しているという安心感を感じてもらえれば」としています。

美しい共演の数々が

毎年恒例の「しだれ桜ふれあいまつり」が4月4日・5日、公津公民館で行われました。訪れた人たちがまず目を奪われるのが、入り口にある見事な「しだれ桜」。それを背景に行われる華やかな「サークル発表」の数々。「花」と「華」の共演に、観客はうっとり見とれていました。



ちびっこ踊り手たちの可憐な舞い